

社会資本総合整備計画														事後評価書								
計画の名称		7 人と公共交通を優先する「歩くまち・京都」を目指して（京都駅西部エリアの活性化）[都市・地域交通戦略]																				
計画の期間		平成 2 8 年度 ～ 平成 3 1 年度 （4年間）										重点配分対象の該当										
交付対象		京都市																				
計画の目標		新駅設置とともに公共交通の利便性の向上と利用促進により誰もが移動しやすい交通環境を整えとともに、地区内の開発とも連動し、京都駅西部エリアに相応しい賑わいの創出と移動に便利、暮らして快適なまちづくりを目指す。																				
		目標 ：鉄道駅の新設や公共交通機関の充実により、自動車に過度に依存しない誰もが移動しやすい環境を整える。																				
		目標 ：鉄道駅の新設や公共交通機関の充実により、交通拠点間のアクセスを強化し、京都駅西部エリアの活性化を図る。																				
全体事業費（百万円）		合計（ A + B + C + D ）		5,270		A	5,270		B	0		C	0		D	0		効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）		0		%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（ H28当初 ）		（ H31末 ）
1	京都駅西部エリア来訪者の交通手段別分担率のうち、自動車分担率を20%から15%に減少させる。			
	「下京区西部エリアの来訪者アンケート（自動車で来訪された方の割合）」調査結果	20%	%	15%
2	京都駅西部エリア内、梅小路公園の利用者数の増加（定量的に把握できる公園施設「朱雀の庭、いのちの森」の年間入場者数を14,600人／年から16,000人／年に増加。）			
	梅小路公園内の公園施設「朱雀の庭、いのちの森」の年間入場者数	14600人／年	人／年	16000人／年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	都市交通	一般	京都市	間接	西日本旅客 鉄道株式会 社	-	-	J R 嵯峨野線 京都・丹 波口間新駅設置事業	新駅設置	京都市	■	■	■	■		5,270		-
											小計						5,270		
											合計						5,270		

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
京都市で評価を実施	令和元年度末
	公表の方法
	京都市ホームページにより公表
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	新たに駅が設置されたことにより，周辺エリアの来訪者の自動車分担率が減少した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○ 特記事項（今後の方針等）	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	来訪者の自動車分担率の減少		
	最 終 目標値	15%	新たに駅が設置されたことにより，自動車の代わりとして鉄道利用が増加したため
	最 終 実績値	11%	
2	公園施設入場者数		
	最 終 目標値	16000人 / 年	令和2年1～3月において，新型コロナウイルスの影響により入場者が減少したため
	最 終 実績値	15225人 / 年	

計画の名称	7 人と公共交通を優先する「歩くまち・京都」を目指して（京都駅西部エリアの活性化）〔都市・地域交通戦略〕		
計画の期間	平成28年度 ～ 平成31年度（4年間）	交付対象	京都市

